



研究開発費支援制度のご案内

テクノポリス圏域内企業やグループ等の研究開発や起業化の取り組みを支援します。詳しくは、お問い合わせください。



	研究開発助成事業	地域技術起業化助成事業
対象	次のいずれかを研究開発する企業や共同研究グループ ①新技術または新製品の開発 ②生産工程の合理化または製品の高付加価値	次のいずれかを研究開発する企業や共同研究グループ ①地域技術を利用した商品・デザイン開発事業 ②市場開拓や情報収集、その他起業化に関する事業
助成額	研究開発に要する経費の一部 (助成対象経費の 2/3 以内で上限 200 万円) ※再エネや医療福祉機器、ロボットに関する技術高度化に要する研究の場合は、上限 300 万円	起業化に要する経費の一部 (助成対象経費の 2/3 以内で上限 300 万円)
申込期限	令和3年5月31日(月)まで	

須賀川アドホック総会を開催

4月23日に開催した総会において、役員を選任及び事業計画を審議いたしました。

役職	氏名(事業所名)
会長	神田雅彦(神田産業(株))
副会長	伊丹雅昭(にこにこバラ園(株))
	日向信敬((株)日向精工)
運営委員長	水野和彦((有)ミズノ製作所)
運営委員	吉田尚正((株)吉城光科学)
	水上哲夫((有)ぱすわーど)
	高橋英幸(岩通マニファクチャリング(株))
	吉田陽一(福陽ガス(株))
監事	栗原敏郎(紅食(株))
	佐藤博((株)ひまわり)



New Face

須賀川市からきました根本久志です。野球で鍛えた根性とチームワークを大事に、圏域企業の皆様の発展のために頑張りますので、よろしくお願いします。



郡山市からきました桜沢雅史です。生活に密着するものから時代を先行くものまで、ものづくりに取り組む方を支えていきます。よろしくお願いします。

Technological Column(今月のコラム)~新技術情報などを毎月紹介します~

今回は、「アルミ発電機」を開発し販売へ至った(株)プロトンシステムを紹介します。緑川社長は、白河市出身で大手水処理会社を退社後、起業し仙台市に本社を置いています。当初は、廃アルミニウムを利用した水素生成システムを開発。その後、アルミニウムを利用した一次電池の開発に着手、製品の試作及び改良等を行うために平成31年1月にインキュベーションセンターに入居。



ものづくりインキュベーションセンター管理員兼技術コーディネーター 佐藤 喜幸

試行錯誤を重ねて、「アルミ発電機」が完成しました。この発電機(一次電池)の特徴は、ON/OFF が可能で、発熱せず可燃性ガスも発生しません。またアルミ発電機は、モバイルバッテリーやスマホなどの充電にも利用できるほか、軽量のシート状で 2000 時間の長期発電が可能のため、災害対策にも利用できます。

昨年のリーフふくしま 2020 の展示では、多くの方がブースに訪れ、2社と契約されるなど、他社からも注目を浴びています。今後、電気分解しない水素の生成と CO2 を回収した新しい発電システムを実証し、脱原発代替エネルギーの開発に取り組むそうです。

次回は、「高出力な高効率モーターコイル(ASTコイル)」を開発している(株)アスターを紹介いたします。

